

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成31年(令和元年)度事業計画について

平成31年3月25日(月)に理事会を開催し、平成31年(令和元年)度事業計画(案)が承認されました。

今月号では、その内容の一部をご報告します。

事業方針 (一部抜粋)

大阪市育成会では、平成30年4月に行われた法施行3年後の見直しによる制度改正に対応するために様々な検討を進めてきました。そのうち重点項目として、法人全体では経営の安定化に向け、平成31年(令和元年)度ではさらに踏み込み、各種規程の見直しに取り組んでいきます。また、各事業所での利用者定員区分や実施事業の見直しについても、可能性を探りつつ具体化にむけて準備を進めていきます。

一方、提供しているサービスの質の向上させるため、職員に対する研鑽の機会の提供を継続していきます。各事業所圏域の職員で組織している研修企画委員会では、近年の福祉施策の潮流に沿った研修の企画を行い、支援現場で活用できる知識と技術の習得に繋がる研修の企画をしています。平成31年2月には、全体研修として事例発表会を実施しました。その結果、従来では事業所内でしか知られていなかった取り組みや実態を職員全体で共有することができ、さらには事業所全体で構成や資料制作に取り組む一体感も生まれました。平成31年(令和元年)度はステップアップして、事業所の枠内に収まらず、法人への帰属意識を醸成できるような企画を目指しています。併せて、内部研修の充実と同様に外部研修の積極的な受講を促していきます。加えて、職員が他法人の事業所の取り組みを知る機会が少ないため、全国育成会連合会といった全国的な団体に属しているメリットを活かし、他法人や他事業所との繋がりを深め、見聞を広げることと新たなアイデアを創出する環境を作りたいと考

えます。

さらに各事業所で利用者の高齢化の対応が差し迫っている状況から、新設されたサービスも含めて今後のあり方について、効果的・効率的な事業運営を構築する必要があります。

一方、各事業所の設備面においても、利用者の高齢化・障がいの重度化が進んでいる状況から、各事業所のバリアフリー化についても、実施時期も含めた具体的な検討を進めていきます。

障害福祉サービス事業

- ア 東育成園の経営
(生活介護25名 就労継続B型25名)
- イ 港育成園の経営(生活介護40名)
- ウ 港第二育成園の経営(就労継続B型40名)
- エ ワークスいけじまの経営(就労継続B型20名)
- オ 福島育成園の経営
(生活介護80名 施設入所支援40名)
- カ 居宅・移動支援等事業
(移動支援・居宅介護・重度訪問介護・行動援護)
- キ 共同生活援助事業(メープル、ビーンズ)
- ク 短期入所事業(メープル、福島育成園)
- ケ 相談支援事業(東育成園・福島育成園)
- コ 日中一時支援事業(東成・港・港第二・福島)

各種福祉事業

- (1) 障がい者就業・生活支援センター事業
(西部地域障がい者就業・生活支援センター)
(大阪市委託事業)
- (2) 区障がい者基幹相談支援センター事業
(東成区障がい者基幹相談支援センター)
(福島区障がい者基幹相談支援センター)
(大阪市委託事業)
- (3) 知的障がい者雇用促進事業
(エル・チャレンジ受託事業)